

●パブリックコメント集計結果一覧表

対象事案の名称:小美玉市こども計画(案)

1. 意見提出者数 3人

提出方法	人数
郵送	
ファクシミリ	
電子申請	3
直接持参	
合計	3

2. 提出された意見の内容及び市の考え方

NO	意見の対象箇所	意見の内容	意見数	市の考え方(回答)
1	68ページ 現状と課題の項目4について	公園の遊具を充実させるべきと考えます。 「小学生の約1割が公園で過ごす」と記載がありますが、これを多いと捉えるか少ないと捉えるかは人それぞれですが、どちらに捉えても公園の遊具を充実させるべきと考えます。 私は週末幼児と公園で過ごすことが多いですが、まず小美玉市の公園では遊びません。 理由は公園の遊具が充実していないからです。 例として、私の家の近くの公園はわんぱく公園です。 ここは私が子供の頃とは違いリニューアルされました。しかし公園の遊具の数が激減し、子供をわざわざ公園に連れていくなら、もっと遊具が充実した笠間市の中央公園等に連れて行ってしまいます。 小美玉市には土地が広いが遊具が少ない公園がたくさんあります。 新しい公園を作るのもよいですが、そのお金で今ある多くの公園の遊具を充実させて下さい。 よろしくお願いします。	1	小学生・中高生のアンケートで、「小美玉市の好きなところ」に施設・遊び場として「公園がある」という声があり(素案20ページ)、「こんな場所があったらいいな」では公園に関わる要望が多くありました(素案24ページ)。学童期以上のこどもはもちろん、就学前のこどもと保護者にとっても公園が重要な生活環境であると認識しています。ご指摘の「遊具の充実」については、「インクルーシブ遊具の設置推進」に取り組みます(素案69ページ)。インクルーシブ遊具は、障がいの有無や年齢、性別などに関わらず、誰もが一緒に楽しめるように設計された遊具であり、幼児から若者、保護者の方までの安全・安心な利用に資するものと考えます。併せて、今ある設備を安全に利用できることも重視し、定期的な遊具点検を引き続き実施します。
2	基本目標について	最近の子供視点で子供の意見を取り入れて頂くのが良いと思いますが、IT、科学など未来志向の興味関心へのサポートをして頂ければと思います。また国の法律の趣旨の問題とは思いますが、その地で生まれた子供が後を継いで地域を支える時代でもないと思います。経済的には人口は流動したほうが活性化します。興味関心に応じて出ていく子供がいることも素晴らしいことですからむしろ応援したい。逆に小美玉に魅力を感じて移住してくる人口が増えれば良い訳で、適度な田舎というのが最大の売りだと考えます。東京も近く、農地も多い。だけど農地が細切れで跡継ぎがいなければ放棄地になり空家も増える。農地の集約化と法人化が不可欠と考えます。農業法人は人によっては魅力のある就職先で、Iターン、Uターンの場を提供できると考えます。主題の計画に対する回答からは逸れてしまい恐縮ですがよろしくお願いします。	1	未来志向の興味関心へのサポートに関連するものとして、素案52ページ「施策2 生きる力を育む教育の充実」に記載の通り、ICT教育、国際交流、福祉、道徳、キャリア教育など、時代の潮流に沿った教育を引き続き行います。ICT教育では、インターネット情報の活用、コンピュータを活用した表現能力の開発等を実施します。 ご意見の後半は、まさに小美玉市第2次総合計画の基本理念の一つ「ふるさと・文化、そしてシビックプライド」で目指すところと合致するものと考えます。本計画(小美玉市こども計画)のみならず、上位計画や関連各計画による取組を総合的に進めてこそ実現できるものと認識していますが、特に本計画では、こどもや若者が「住んでよかった、これからも住みつづけたい」と思えること、また、離れていてもいつかは「帰りたくなる」ことを目指して取組を進めます。
3	80ページ 子育てや教育に関する経済的負担の軽減について	みのり地区ではまだ関東鉄道のバスを利用していると聞いた。他の地区はおみたんバスが送迎できているのに、特に清風台区までは範囲が広がっていないのはなぜか。小美玉市でスクールバスにするか、おみたんバスの範囲を広げるか、それとも関東鉄道使用者に定期券分の現金支給(助成)をするかなど、対策が欲しい。	1	ご意見は、子育てや教育に関する経済的負担の軽減の側面もありますが、こども・若者や子育て当事者をとりまく地域環境の整備に関わる側面も大きいものと考えます。素案90ページ「施策2 子育てを支援する地域環境の整備」に記載の通り、道路、公園、医療機関等とあわせ、日常的な交通手段の利便性向上に向けた取組を、財政管理を踏まえた上で計画的に進めます。
合計			3	